

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

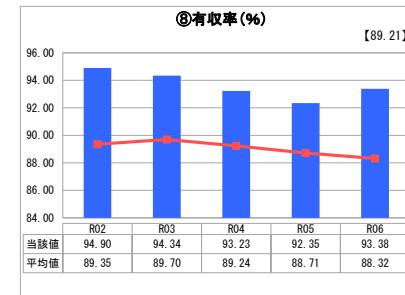
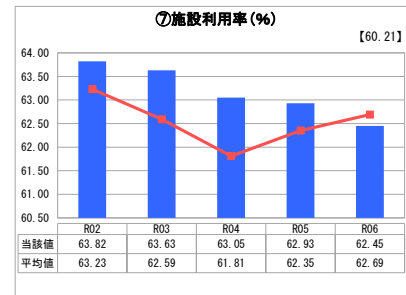
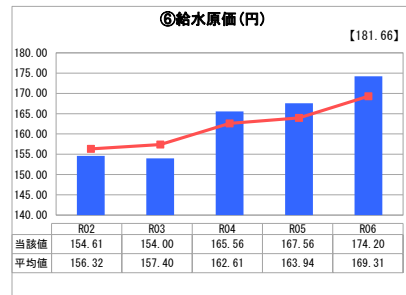
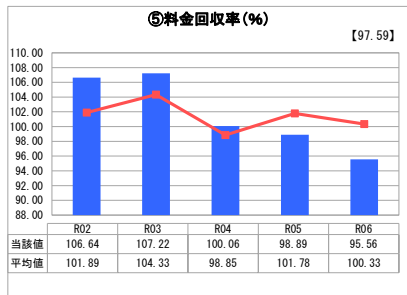
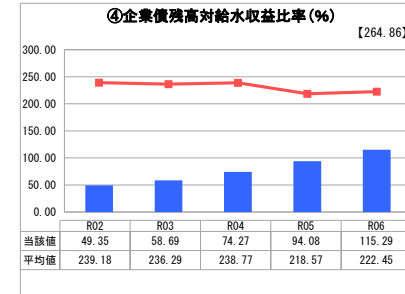
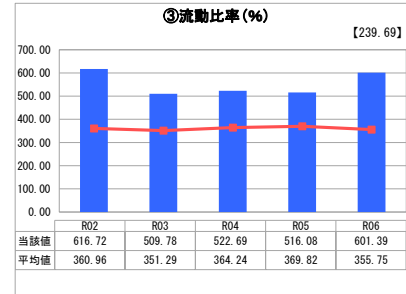
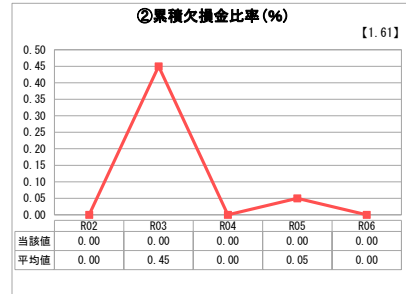
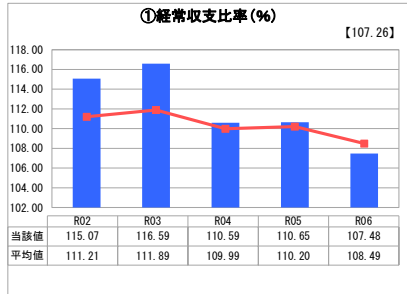
千葉県 我孫子市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	85.66	92.74	2,695	

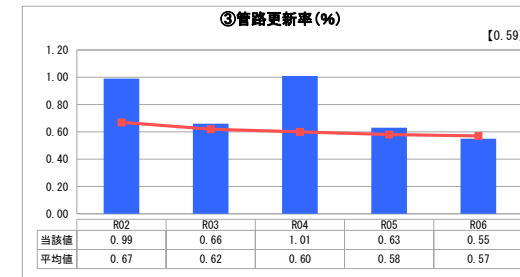
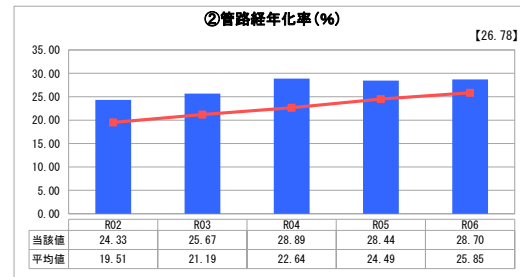
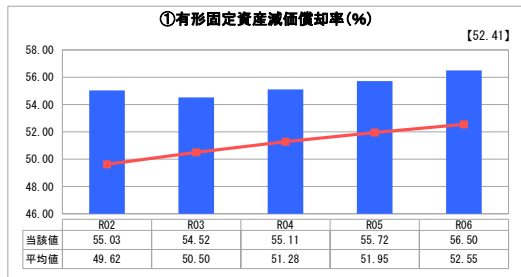
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
131,317	43.15	3,043.27
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
121,728	43.51	2,797.70

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率⑤ 料金回収率  
 経常収支比率は類似団体の平均を下回っているものの、全国の平均を上回っており、かつ、100%以上を維持し、高い健全性を示しています。一方、料金回収率は100%を下回り、かつ、全国及び類似団体の平均を下回っています。水需要の低下による給水収益の減少に伴い、経常収支比率は悪化傾向にあり、料金回収率も100%を下回っていることに加え、今後も経営削減や水道管の耐震化、老朽化した水道施設の更新のための財源の確保などが求められることから、事業経営のさらなる効率化に努めます。

② 累積欠損金比率  
 累積欠損金は生じておらず、0%を維持しています。

③ 流動比率④ 企業債残高対給水収益比率  
 流動比率は全国及び類似団体の平均を上回り、企業債残高対給水収益比率は下回っており、短期・長期ともに支払能力に問題はありませぬ。ただし、施設更新需要の増や物価高騰により、工事費用の増加が見込まれます。工事費用の増加に対応するため、今後は企業債の借入を増加していくことから、この二つの指標は悪化が見込まれます。

⑥ 給水原価  
 昨年に引き続き、物価高騰により、経常費用が増加したこと、水需要の低下に伴い給水収益が減少したことにより、給水原価が増加したことから、類似団体平均を上回りました。業務の効率化による運営コストの削減や、自己水汲と受水量の割合の見直し等により給水原価の低減に努めています。

⑦ 施設利用率  
 全国の平均を上回っているもの、類似団体の平均を下回っており、水需要の低下により悪化傾向にあります。今後は、適切な施設規模の検討を行い、施設利用率の効率化に努めます。

⑧ 有収率  
 昨年度まで減少傾向にありましたが、耐震化工事や漏水修繕等を着実に進めていることから、上昇基調に転じました。全国及び類似団体の平均を上回っていますが、引き続き、有収率向上のための耐震化工事や漏水修繕等を継続的に行っていきます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率② 管路経年率  
 計画的な修繕を行い、施設の長寿命化を図っているため、全国及び類似団体平均を上回りました。今後は計画的な施設更新を進め、数値の改善に努めます。

③ 管路更新率  
 全国及び類似団体の平均を下回っており、管路経年率は依然として高いため、今後も計画的に管路の更新を実施していきます。  
 令和5年度に見直しを行った平成30年度に策定した「我孫子市水道事業基本計画」に基づき、計画的に管路更新事業を進めていきます。

## 全体総括

今後さらに給水収益の減少が見込まれることや、浄水施設・管路の更新需要の増加により、本市水道事業を取り巻く経営状況は一層の厳しさを増すことが予想されます。水道サービスの持続性を確保するため、包括業務委託等の外部委託の更なる拡大等を図り、更なる業務の効率化や費用の縮減により運営コストの削減に努めます。

また、増大する施設の更新需要に対しては、水道料金の見直しを含め、企業債の借入やその他の財源を検討し、活用することで、財政バランスを考慮しながら施設更新事業のさらなる推進に努めます。